

校長室だより

9月号②

2学期が始まり、はや3週間が過ぎました。子どもたちは、すっかり学校生活にも慣れ、現在は運動会の練習に熱心に取り組んでいます。朝夕は次第と涼しくなり秋の訪れを感じるのですが、日中はまだまだ気温が下がらず、高温に注意する日々が続いています。いろいろと疲れが出やすい時期です。お子さんの体調管理に十分気をつけてください。よろしくお願ひします。

最高の 令和最初の 思い出を

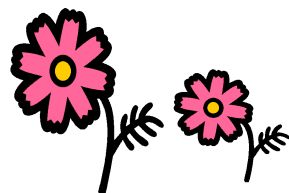
これは、子どもたちが考えた今年の運動会のスローガンです。スローガンは、毎年、それぞれの学年で子どもたちが考え、それをもちよって学年の代表が話し合い、決定しています。

子どもたちは、時代の節目の今年の運動会を忘れられない「最高の思い出」にしようと考えたのです。児童会が今年のスローガンを発表した後、それを達成するためにどうしたらいいのか、各学年で発達段階に応じて考えました。

「最高の思い出」にするかしないかは、自分次第です。自分が何もしないで、誰かが「最高の思い出」にしてくれるのではありません。運動会が終わった後、「最高の思い出」になったと実感するためには、自分は何をしなくてはいけないのかをしっかりと考えてほしいと思います。一人一人がそのことを考え、自分にできることをいっしょうけんめいすれば、必ず運動会が「最高の思い出」になると思います。西麻植小学校の子どもたちなら、絶対に達成できると信じています。保護者のみなさまも、運動会での子どもたちのがんばる姿を楽しみにしてください。



先輩が、教育実習に



9月9日（月）から、本校卒業生の後藤田優花さんが、養護教諭（保健の先生）になるために教育実習にきています。明るくはきはきとした方で、先日も、西麻植小学校での思い出話を熱く語ってくれました。つばくろの家、6年でのサマーキャンプ、先生との思い出・・・。「本当に西麻植小学校はいい学校で、その伝統が今も続いていることがすごいことです。」ということも話していました。たくさんの子供と関わり接することで、先生としての基礎を学んでほしいです。そして、後輩たちに、先輩としてのメッセージも伝えてほしいと思います。

教育実習は、10月4日（金）までとなっています。

